

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月21日

事業所名 デイジーくらぶ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	活動内容に応じて、パーティションを活用している。	机・椅子・パーティション等を利用し、活動しやすいように環境を適時整えていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	7	0	基準はクリアしている。	研修等により、スキルアップを図る。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	床マットの色で空間を区切ったり、写真やイラストによる視覚提示をしている。	パーティションや静養室を使用し、個々の特性に応じた過ごし方ができるように配慮する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	毎朝の消毒、夕方の清掃を行っている。	毎日の掃除・消毒を徹底し、清潔な環境に努める。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2	計画作成にあたって、モニタリングを行う際には スタッフが参加できるようにし、毎日の振り返りを行っている。	グループ会議の定例化を図る。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	評価表の集約を行い、スタッフでの共有化を行う。	保護者からの評価表に基づき、スタッフ間で話し合い、計画を立てていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	前回は、紙媒体での配布であったが、HPの開設によりその活用を行う。	HPを活用する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	7	第三者評価は受審していないが、実習生への聞き取りを行っている。	法人の第三者委員の活用や実習生へのアンケートを行う方向で検討している。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3	外部研修には機会を作り、参加している。	職場内研修では、研修内容を検討し、計画的な研修を実施するように図る。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	7	0	モニタリング後にスタッフで共有化し、支援計画のプランニングに活かしている。	見学時の本人の様子、アセスメントでの聞き取り、サービス等利用計画を基に、スタッフ間で話し合っ、支援計画を立案する。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		本人の利用時の様子や期間に応じて、アセスメントシートの見直しを行っていく。
	12 個別支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	終了後のミーティングで振り返りと感想を述べあい、連携を図っている。	振り返りから出た意見を基に、日々の支援をスタッフで共有化を図る。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	ミーティングで協議し、内容を検討している。	スタッフ間で意見を出し合い、活動内容を考えていく。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	子どもたちの状況に応じたプログラムを企画するように図っている。	様々な経験ができる活動を組み合わせるように図る。
	15 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	長期休暇期間では、子どもたちのできることを、やりたいことを職員で話し合い、活動に活かしている。	長期休暇期間のプログラムでは、子どもたちの意見を事前に聞き、取り入れていくように努める。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	6	1	子どもたちの状況に応じたプログラムを企画するように図っている。特に年長児には企画づくりから参加できるように図っている。	年長児を中心に話し合い、活動の企画づくり等の機会を作っていく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	毎朝、ミーティングを行っている。長期休暇期間は短時間で実施し、反省会で振り返りを行っている。	毎朝のミーティングで、その日の活動を確認し、スムーズに支援ができるように図る。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	スタッフ皆が意見を出しやすい環境づくりができています。	振り返りの中で、次の支援につながるよう意見を出し合い、スタッフ間で共有を図る。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	必要に応じて、業務日誌に個別記録を記載している。	業務日誌の個別記録や振り返りでの意見から、改善点を見いだしていく。
20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	スタッフによるモニタリングの共有を図っている。	保護者とのモニタリングやスタッフでの話し合い等から、支援計画を見直していく。	

	21	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	2		保護者のニーズや本人の生活から適切な支援を選択し、支援計画に盛り込んでいく。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	5		基本的な生活習慣を中心に、様々な体験を取り入れた活動ができるように支援を行う。
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	児童発達支援管理責任者を中心に参画している。	スタッフ間で共有した意見を基に、会議に参加するように図る。
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	必要に応じて、関係者と連絡を取ったり、関係者会議の開催を要請している。	日々の活動の様子から、必要に応じて関係機関等と連携を図っていく。
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-		
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-		
	27	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	適時、情報交換を行っている。	毎月の行事予定や下校時刻等を確認し、送迎の際には引き継ぎを行っている。
	28	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	必要に応じて、相談支援事業所に担当者会議の開催を要請している。	本人の活動での様子や保護者のニーズに応じて、相談支援事業所を通じて、相互の情報共有を図る。
	29	移行支援として、学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	必要に応じて、相談支援事業所に担当者会議の開催を要請している。	本人の活動での様子に応じて、相談支援事業所を通じて、相互の情報共有を図る。
	30	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	必要に応じて、担当者会議を開催している。	本人の活動での様子に応じて、担当者会議の開催を要請し、行っている。
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブ、児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	7		必要に応じて検討していく。
	32	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	7		情報収集を図る。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	連絡帳でのやりとりや送迎時の保護者との伝達でコミュニケーションを図っている。	日常での様子を伝達しながら、必要に応じて話し合いの場を設けていく。
	34	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	7		必要に応じて検討していく。
保護者への説明責任等	35	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	契約時、変更時には必ず面談を実施している。	契約時には複数で対応し、チェックを行い、変更時には直接伝え、書面でサインをもらっている。
	36	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	7	0		個々の状況に応じた支援計画の立案、作成に努める。
	37	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	モニタリングの機会を活用している。また、保護者の希望により適時開催している。	送迎時に日々の様子を伝え、相談に応じて必要な助言を行い、希望があればモニタリングを開催していく。
	38	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	7		必要に応じて検討していく。
	39	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	要望に応じて、個別面談を実施している。	相談や申し入れの希望があった場合には、個別面談を実施していく。

非常時等の対応	40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	広報誌「Daisy」の定期発行とHPの「活動日誌」を発信している。	マチコメールで連絡体制を整えたり、広報誌やHPで活動内容を発信していく。
	41	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0		今後も配慮していく。
	42	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0		保護者に応じた方法を配慮し、情報が行き届くように努める。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7		必要に応じて検討していく。
	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	3	災害に応じた訓練を実施し、子どもたちにもクイズ形式の災害対応の時間を設けるなどしている。	様々な状況に応じた対応ができるように、訓練や研修を行っていく。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	1	利用前には保護者からのアセスメントを実施。変更があった場合には適時共有化を図っている。	引き継ぎや連絡帳での伝言で必要事項を伝え、適時電話連絡を取り、スタッフ間で共有するように図る。
47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	保護者からのアセスメントから適切な対応を図っている。	引き継ぎや連絡帳での伝言で必要事項を伝え、適時電話連絡を取り、スタッフ間で共有するように図る。	
48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0		必要に応じて、事業所内で作成、共有化を図る。	
49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	6	具体例からの対応を経過報告という形で実施。	研修の機会を設け、職員のスキルアップを図るとともに、事例検討を定期的に行うように図る。	
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	2	5	該当するケースがないため、身体拘束の概念のみ説明している。	研修の機会を設け、職員の共通理解を図るとともに、必要に応じて子どもや保護者への説明、了解を得るようにしていく。	